

広報・教育部門

応募事例名

マンホールプロジェクトチームによる松阪市の魅力発信

応募団体名)松阪市上下水道部

応募事例の概要

- マンホールに特化したプロジェクトチームを立ち上げ活動
- 「スポーツ振興」、「文化振興」、「地域振興」にも着目
- 他部署と連携してイベントへの参加
- 観光客誘致や下水道のイメージアップにつながる活動

応募事例の内容



三重県で唯一のフルマラソンである「みえ松阪マラソン」にふるさと納税のPRとともに出展



松阪市に本社を置く企業がスポンサーになっているスポーツチームの試合での出展



北海道の名付け親である松浦武四郎をたたえる「武四郎まつり」での出展



全542点の「松阪市の魅力」を展示した「松阪市制20周年記念マンホールデザイン展示会」

PRポイント

下水道の普及・促進の固定概念にとらわれることなく、スポーツ、文化、地域振興にも視野を広げてきた。昨年度は「松阪市の魅力」をテーマにデザインを募集した「松阪市制20周年記念デザインマンホール」を制作し、542点と大変多くの応募をいただき、全応募作品の展示会を開催することで、多くの方に松阪市の魅力を感じていただくことができた。マンホールカードの配布施設の入館者数は増加し、他部署と合同で出展したブースは来場者で賑わい、様々な相乗効果が表れた。部署の垣根を飛び越え、情報発信したことによって、松阪市を訪れる観光客へのPR、市民の皆さんの新たな松阪市の魅力の発見につながり、更に下水道事業への理解も促進され、職員のモチベーション向上にもつながった。

取組に関するエピソード

年々、下水道事業会計予算が厳しくなっていることを考慮し、業者発注を最小限に抑制し、チームのメンバーで協力し合い、隙間時間を利用し、缶バッジやマグネット、マンホールカードの合格祈願お守り袋を手作りで制作しました。当市では初めての試みも多く苦労しましたが、人口減少や少子化が進行する中で特に将来を担う子どもたちに関心をもってもらうことを考え、活動してきました。今後も新たな広報・啓発活動を打ち出していきたいと思っております。



上下水道総務課 課長補佐
坂下 隆昭